

# 年次総会資料

## 日本ハラルサイエンス学会 2019年度年次総会

日時 2020年7月2日(木)  
13時30分～14時30分

場所 Web会議

### 総会次第

(13:30～14:30)

- 1 開会 (13:30)
- 2 会長挨拶 (13:30～13:40)
- 3 総会 (13:40～14:30)
  - 1) 議長選出
  - 2) 議事

第1号議案	2019年度事業報告, 収支決算報告承認の件
第2号議案	2020年度事業計画案, 収支予算案承認の件
第3号議案	本会の運営に関する件
- 4 閉会 (14:30)

## 目 次

1 総会次第 .....	1
2 2019 年度事業報告 .....	3
3 2019 年度収支決算書 .....	6
4 2020 年度事業計画案 .....	7
5 2020 年度収支予算案 .....	7
別記資料	
資料 1 (理事名簿) .....	8
資料 2 (各種担当委員一覧) .....	9

## 2019年度事業報告

(自 2019年4月1日～至 2020年3月31日)

### ・INHAC

2019年4月22日～23日、日本ハラールサイエンス学会(JAHAS)が、マレーシアのマラ工科大学、ブルネイのスルタン・シャリフ・アリ・イスラーム大学との共催で、第4回国際ハラール会議(INHAC 2019)を大阪大学中之島センターで開催。同会議は2012年以降、3回にわたって東南アジアや中東で開催されてきたが、それを日本で初開催したのは画期的といえる。第4回大会のテーマは「ハラールの持続可能性の向上(Enhancing Halal Sustainability)」。ハラール産業26分野について国内外の発表者による研究報告やシンポジウムが2日間にわたり行われた。同大会の英文成果報告書がSpringer社から近々出版予定であり、JAHAS会長、副会長等がその査読と編集作業に参加した。

### ・「ミーミル・エキスパート」としてのハラール産業についての知見提供

情報産業ミーミル社が対象とする36分野の先端産業領域における「市場の未来像」に関連して、本会会長の富沢が各業界のトップ有識者「ミーミル・エキスパート」の一人に選定され、ハラール産業についての見解とその未来像についての知見をネット上で公開提供した(2019年11月～2020年1月)。このような情報・知見提供は今後も状況の変化に応じて更新されて行く見込みである。

### ・中村学園大学講演会での講演

福岡市の中村学園大学で、諸外国の宗教と食文化・食生活の理解を目的に、主にアジアのイスラム圏との交流を通してハラールの理解を深めるために平成27年度から継続開催されているプロジェクト研究の第5回ハラ(一)ルセミナー『ハラ(一)ルの科学と食の多様性にむけて』(2019年11月30日実施)で富沢会長が「グローバル化時代におけるハラールサイエンスの役割」と題して講演を行った。ハラールをキーワードにした栄養科学、教育学、経営学の連携プロジェクトの可能性を確認できた。参加者は同大の大学生、大学院生、教職員、他大学研究者、一般市民等約100名。

### ・静岡市教育委員会での講演

静岡市教育委員会主催、令和元年度「第3回栄養教諭・学校栄養職員・栄養士全体研修会」(令和2年2月4日(火)静岡市役所清水庁舎)において、「宗教に配慮した給食対応について」をテーマとして、富

沢会長が『宗教における食事への配慮について』と題する講演を実施し、イスラームをはじめ、さまざまな宗教的背景と食規範の関係について広角度からの知見提供を行った。このセミナーでも教職関係者と栄養士との共同研修におけるハラール関連の情報伝達の重要性が確認された。

・パナソニック（民谷）

企業会員のパナソニック株式会社アプライアンス社は、アルカリイオン整水器・浄水器のハラール認証を取得した。日本国内で製造する家電製品がマレーシアの公的機関から認証を得たものであり、パナソニック製品でも初の認証とのこと。本学会は、こうした産業活動に関しても調査研究を進めていく予定である。

・Marketing ワーキンググループの設置（Remon, Hasan）

ハラール産業におけるマーケティングをテーマに JAHAS 理事らを中心にワーキンググループを設置した。年々国内でもハラール産業へ参入する企業が増加している中、日本の技術や特徴を生かしたハラール（イスラームで合法）でトイイブ（良い）なものを日本から発信し、産業が国内で定着するための課題や問題点などを把握・改善することなどを目的としている。

・栄養士ワーキンググループの設置（吉田）

栄養士・管理栄養士の先生は、食事や栄養の指導、献立の作成、栄養素の計算など食事の管理を仕事としています。食のグローバル化が進む中、このような食事の管理をするうえでは、ハラールに関する知識が必要となっています。そこで、本学会として、栄養士・管理栄養士の立場で、ハラールに関する各種研究を行うことを目的として、栄養士ワーキンググループの設置を計画し、栄養士・管理栄養士関係の大学約 20 校に本学会の紹介を行い、メンバーの募集を行った。

参考資料

・ハラールサイエンスの展望（シーエムシー出版）

民谷栄一副会長、富沢 寿勇会長との共同監修、本会理事、本会会員を中心とする多彩な共同執筆陣で『ハラールサイエンスの展望』をシーエムシー出版から刊行した（2019 年 2 月）。本書はハラールサイエンスと本格的に銘打った専門書としては国内外でも初めての挑戦的企画である。

○ 個人会員(一般, 学生), 団体会員(法人, 団体)

入退会状況

(2020年3月31日現在)

	個人会員			団体会員		
	入会	脱会	会員数	入会	脱会	会員数
2019年度	32	0	32	5	1	4

## 2019 年度収支決算書

(自 2019 年 4 月 1 日～至 2020 年 3 月 31 日)

	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	比 較 増 減 (△)	備 考
1. 前期繰越金	0	0	0	
2. 会費収入	181,000	193,000	12,000	@3千*29名(一般会員) @2千*3名(学生会員) @2万*5社(団体会員)
3. シンポジウム	75,000	89,000	14,000	@3千*28名 @1千*2名
4. 雑収入	0	2,000	2,000	@3千*1名 弁当代1,000*2名
<b>収入合計</b>	<b>256,000</b>	<b>284,000</b>	<b>28,000</b>	
<b>支出の部</b>				
1. INIAC 参加費	75,000	63,000	△12,000	1. @3千*21名 2. 1万*1名 2日間,
2. 受付業務	20,000	20,000	0	
3. 弁当代	6,000	5,994	△6	3.@999*6名
4. 物品費	5,000	4,520	△480	4. 印鑑作成
5. 旅費交通費	40,000	32,480	△7,520	5. JAHAS 講演者
6. 諸雑費	12,000	10,560	△1,440	6. ドメイン維持経費
7. 支払手数料	1,000	432	△568	7. 振込手数料 (216*2)
<b>支出合計</b>	<b>159,000</b>	<b>136,986</b>	<b>△22,014</b>	
<b>差引次期繰越金</b>	<b>97,000</b>	<b>147,014</b>		

上記のとおり相違ありません。

2020 年 6 月 30 日

会 長 富沢 壽勇



副会長 民谷 栄一



監 事 笠岡 誠



# 弘中 史子



## 2020年度事業計画（案）

（自 2020年4月1日～至 2021年3月31日）

- 総会
- ハラールに関するシンポジウム，講演会の開催
- 学会ホームページでの情報提供（学会 News 作成等）

## 2020年度収支予算（案）

（自 2020年4月1日～至 2021年3月31日）

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
前期繰越金	147,014	諸会議費	70,000
会費収入		News 作成費	27,000
@ 3千40名	120,000	旅費交通費	60,000
@ 2千3名	6,000	事務用品費	30,000
@ 2万5社	100,000	支払手数料	1,000
		諸雑費	10,560
		人件費	50,000
		次期繰越	124,454
合 計	373,014	合 計	373,014

別記資料 1

理事名簿

(自 2018年12月26日～至 2021年6月30日)

会 長	1名	静岡県立大学国際関係学部特任教授	富 沢 壽 勇
副会長	1名	大阪大学産業科学研究所特任教授	民 谷 栄 一
理 事	5名	大阪大学グローバルイニシアティブ・センター特任教授 大阪大学グローバルイニシアティブ・センター准教授 北陸先端科学技術大学院大学知識科学系教授 日本ハラル協会理事長 日本食品分析センター理事	波山カムルル 住 村 欣 範 神 田 陽 治 レモン史視 吉 田 員 則
監 事	2名	文教大学健康栄養学部 中京大学総合政策学部	笠 岡 誠 一 弘 中 史 子



別記資料2

**各種担当委員一覧**  
(自 2018年12月26日～至 2021年6月30日)

<p style="text-align: center;">事務局・総務・会計 担当</p>	<p>大阪大学グローバルイニシアティブ センター准教授</p> <p>大阪大学グローバルイニシアティブ センター特任教授</p> <p>北陸先端科学技術大学院大学知識科学系 教授</p> <p>大阪大学産業科学研究所特任教授</p>	<p>住村 欣 範</p> <p>波山カムルル</p> <p>神 田 陽 治</p> <p>民 谷 栄 一</p>
<p style="text-align: center;">産学連携担当</p>	<p>日本食品分析センター理事</p> <p>日本ハラール協会理事長</p>	<p>吉 田 員 則</p> <p>レモン史視</p>
<p style="text-align: center;">国際連携担当</p>	<p>大阪大学グローバルイニシアティブ・ センター特任教授</p> <p>日本ハラール協会理事長</p>	<p>波山カムルル</p> <p>レモン史視</p>
<p style="text-align: center;">広報・渉外担当</p>	<p>北陸先端科学技術大学院大学知識科学系 教授</p> <p>日本ハラール協会理事長</p>	<p>神 田 陽 治</p> <p>レモン史視</p>